

もの言う牧師のエッセー 第164話

「帰って来た仮面ライダー」

今年68歳になった俳優の藤岡弘さんが、映画「平成ライダー対昭和ライダー」にて38年ぶりに仮面ライダー1号、本郷猛役を演じたので驚いた。彼は、ハリウッド映画に憧れ高校卒業後に俳優を志し所持金3万円で愛媛県から上京。俳優養成所に入ったものの、生活費を稼ぐために建設現場などで働かないと食えないなど苦労の末、仮面ライダーの主役の座をつかんだが、すぐアクシデントに見舞われた。放送開始直前の71年3月、第9話と10話の撮影中にバイク事故で大腿骨複雑骨折の重傷を負い、復帰が絶望視されたのだ。

当然、脚本は急遽変えられた。仮面ライダーが死ぬという案もあったが、プロデューサーが「子供の夢をつぶしてはならない」と反対し、第14話で海外のショッカーを倒すために旅立つという設定に落ち着き、俳優養成所同期の佐々木剛さんが「代役」の仮面ライダー2号を引き受け、その後、計6カ月の入院とリハビリを乗り越えて第53話から復帰。仮面ライダーは2号から1号に戻ったのだった。当時まだ子供だった私の目にも奇異に映ったのを覚えている。

「もしあの大けががなかったら、といつも考えます。人気を鼻にかけてもっと嫌な人間になっていたかもしれませんね。自分を戒められた気がします」、と振り返る藤岡さんを見て、聖書の

「ですから、あなたがたは、神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神が、ちょうど良い時に、あなたがたを高くしてくださるためです。」1ペテロの手紙5章6節、

を思い出した。人生において絶体絶命にまで追い込まれたりすることは珍しくない。藤岡氏は、「諦めずにいれば誰でもヒーローになれる」とも言っているが、なるほどキリストは、我々が苦しい時に救うだけでなく、諦めずに彼を信じ続ける時、立ち直りヒーローにまでして下さるところがすごいのである。彼を信じ、その信仰を続ける時に奇蹟は起こる。

2014-12-27

